



## お盆期間中の主要観光施設等の入込状況について

### 【発表の要旨】

お盆期間中における遠野市内の主要観光施設等の入込状況を公表します。

### 【発表の内容】

#### 1 調査期間

平成23年8月11日（木）～16日（火）の6日間

#### 2 調査対象

観光施設9施設（市立博物館、とおの昔話村、遠野城下町資料館、蔵の道ギャラリー、まちなかドキ・土器館、千葉家、伝承園、遠野ふるさと村、たかむろ水光園）  
道の駅2施設  
あえりあ遠野

#### 3 概況

期間中の主要12施設の入込状況は、79,110人（過去3年平均81,191人、対比97.4%）となった。

#### 4 施設ごとの内訳

観光施設 ... 9施設調査 10,524人（過去3年平均15,161人、対比66.2%）  
道の駅 ... 2施設調査 67,999人（過去3年平均65,500人、対比103.8%）  
宿泊施設 ... 1施設調査 638人（過去3年平均563人、対比113%）

#### 5 要因等

道の駅及び宿泊施設については、被災地支援関係者の利用で、お盆期間中についても、引き続き平年を上回っている。

観光施設については本年4月の入込状況（対前年比1割～2割程度）に比較し、上向いてきてはいるものの6割程度となっている。ただし、たかむろ水光園（過去3年平均対比89.5%）、遠野ふるさと村（過去3年平均85.6%）は調査した観光施設9施設の中で健闘している。

たかむろ水光園については、宿泊及び入浴で被災地支援関係者が利用していることが理由としてあげられる。

遠野ふるさと村については、帰省客のリピーター及び遠野を拠点に被災地支援した方が、再度来村している傾向が見受けられる。（遠野ふるさと村支配人談）

また、大槌・陸前高田方面のボランティアツアーの行程として、遠野ふるさと村の宿泊体験（月5回、1回100人程度）が組み込まれており、再度、訪問してもらうきっかけを提供している。

担当

産業振興部観光交流課（鈴木 惣喜）

電話 0198-62-2111（内線 131）